

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	アプリ児童デイサービス習志野		
○保護者評価実施期間	2025年12月5日		～ 2026年1月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44名	(回答者数) 44名
○従業者評価実施期間	2025年12月5日		～ 2025年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 13名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月28日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供達や保護者様からの満足度。	子どもたちには「楽しかった」と思ってもらいたいという思いから、職員が全力で子どもたちと関わり、遊びを通して支援を行っています。問題行動についても真摯に向き合い、保護者様とは小さな成長や悩みごとをこまめに共有し、より良い支援につなげられるよう工夫しています。	引き継ぎの際に十分な情報共有ができない場合があるため、そのような場合には電話連絡を行うなど、子どもたちの情報をより共有できる機会を設ける必要があると感じています。
2	情報の取り扱いについては徹底をしている。	個人情報が記載されている書類は、鍵のかかるロッカーで厳重に保管しています。併せて、パソコンについてもロックを設定し、情報管理を徹底しています。	卒業していく児童の書類が増えてきているため、それらをまとめて整理できる専用の保管場所を設けたいと考えています。
3	アレルギーやてんかん発作のある児童については一覧化して管理しており、職員間で情報共有を徹底することで、事故防止に努めています。	アレルギーやてんかん発作のある児童は一覧化して管理し、服薬がある児童についてはダブルチェックを行うことで、事故防止に努めています。	一覧にはなっているものの、特性や詳細までは記載されていないため、より具体的に記載することで、さらに事故防止につながると感じています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	クールダウンスペースや静養室など、児童が気持ちを落ち着かせたり、個別に休憩を取ったりできる専用スペースが十分に確保できていない点	事業所の構造上、限られたスペースで運営していること	構造上の制約により個別スペースの確保が難しい現状があるが、環境設定や物品の工夫、職員間の連携を通じて、児童が安心して過ごせる支援体制の充実を図っていく
2			
3			